

2019年7月10日
Ref. 19-0710-020

新潟県発の障がい者アート展、東京で初開催 「東京 MOS ごと美術館 2019」

～同時に、2020年の展示作品を関東近郊の福祉施設より募集開始～

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：中村 栄輔、本社：東京都品川区）では、2019年7月24日（水）～9月23日（月・祝）の2か月間、東京都のモスバーガー10店舗※1にて「東京 MOS ごと美術館 2019」を開催します。

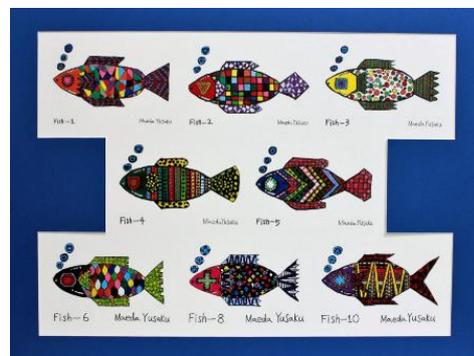
※1 秋葉原末広町店、大崎店、国立大学通り店、洗足池店、千鳥町店、成増店、西葛西北口店、西葛西南口店、東久留米滝山店、六本木店



【ポスター】



【作品例：帰りの道】



【作品例：FISH'S-熱帯魚たち-】

「東京 MOS ごと美術館 2019」は、新潟県にお住まいの障がいのある方々が描いた作品をモスバーガー店舗で展示する企画です。この取り組みは、新潟県の「まちごと美術館 cotocoto」事業に賛同し、2016年に「新潟 MOS ごと美術館」として新潟県の店舗でスタート、大きな反響をいただき、これまでに3回開催してきました。その経験を踏まえ、今夏、東京都の一部店舗で開催することになりました。

「東京 MOS ごと美術館 2019」は、野菜やお花などお店の雰囲気合う作品を各店舗5点程度展示して、店ごとにさまざまなアートを楽しんでいただけます。また作品には作者の紹介を添えて展示し、障がい者アートがより身近に感じられる工夫をします。

また、「東京 MOS ごと美術館 2019」開催期間には、来年の「東京 MOS ごと美術館 2020」実施に向け、作品募集を開始します。来年は、10店舗から更なる拡大を目指し、「まちごと美術館 cotocoto」が取り扱う新潟県のアート作品だけでなく、関東近郊に住み、活動する障がいのある方々のアート作品も展示する予定です。国際交流が盛んになり、共生社会への意識が高まる2020年に向けて、障がいのある方々の作品に親しんでいただける機会を創出し、「みんなで作る MOS ごと美術館」として、新たな交流、ふれあいを大切にするおもてなしの場を作りたいと考えています。

●お店に寄せられた「新潟 MOS ごと美術館」へのお声（過去の開催より）

- ・障がいのある方のご家族やご友人がお店を訪れるきっかけになりました。
- ・絵を描く目標ができました。
- ・あたたかい絵は気持ちがほっこりします。

●「まちごと美術館 cotocoto」事業について（詳細 URL: <https://cotocoto-museum.com/>）

新潟県の企業※2が、2016年7月から地域の団体などと協力しながら本格稼働した事業です。障がいのある方のアート作品を店舗や施設などに貸し出すことで、街全体をアートで彩りながら、障がいのある方の雇用や収入増、社会との接点づくりに繋げていく取り組みです。2019年6月末現在、県内の福祉施設の利用者など20名以上が出品しており、約150作品を取り扱っています。

※2 cotocoto 事業の事務局は株式会社パウハウス（新潟市）が担当しています。

<「東京 MOS ごと美術館 2019」実施概要>

- 名 称 : 「東京 MOS ごと美術館 2019」
- 期 間 : 2019年7月24日（水）～9月23日（月・祝）の2か月間
- 場 所 : 東京都のモスバーガー10店舗
（秋葉原末広町店、大崎店、国立大学通り店、洗足池店、千鳥町店、成増店、西葛西北口店、西葛西南口店、東久留米滝山店、六本木店）

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389
<https://www.mos.co.jp/company/> E-mail. pr@mos.co.jp

<お客様からのお問い合わせ先>

お客様相談室 TEL. 0120-300900